

令和6年度あきる野市タウンミーティング 主な懇談内容

2 五日市地域交流センター 第4、5、6会議室 <令和6年10月6日(日)開催>	
① BBQ場について	
Q	東町においては、夏場、秋川河川公園BBQ場からの煙の影響が出ている。観光協会や観光まちづくり推進課に改善要望を行ってるが、市民生活を優先させ、対策を講じて欲しい。
A	管理者と自治会との情報共有などで至らないところがあったのかなと思う。現場を確認して、周辺への影響を低減できるよう、観光協会との取り決めもしている。観光協会からは、地域に影響するような部分については配慮した運営をしていくという報告も受けている。住民の生活環境を害するという事は好ましくないため、配慮していきたい。
Q	十里木や星竹のBBQ場について、混雑により、川で地元の子どもが遊べないような状況になってしまっている。また、騒音や煙の問題も発生している。民営なので難しいとは思いますが、市としてBBQ場の方針、運営指針をつくってほしい。BBQ場の混雑により周辺の道路も混雑してしまう。地元住民も我慢しながら生活している。市全体の問題と思う。
A	BBQ場について、キャパオーバー、オーバーツーリズム気味になってきているということは認識している。今年のお盆休みには、十里木の付近において大渋滞が起こっており、急遽、市職員に交通整理をさせた。令和7年度にも同様の事態が発生すると思うので、対策を講じる予定である。河川公園は観光協会に委託をしているが、市が責任を持って考えていかないといけない。他の施設は民間事業者により運営されているが、河川は公共の場なので、市としての対応を考えていく必要があると思う。マナーの啓発も必要と思う。現在、観光計画をとりまとめているので、盛り込んでいきたい。
② 公共施設の予約について	
Q	80歳代の女性から、公民館でバンドリンの練習をしているが、毎月1日に公民館まで行って、予約の手続きをしないといけないのが不便との話があった。FAXや電話などでも予約できるように、考えてほしい。
A	空き状況はインターネットでも確認できるが、予約はできない。生涯学習の担当部署に伝え、検討したい。そういったところから、デジタル化を進めていきたい。
③ ふるさと納税について	
Q	市民が他自治体へふるさと納税することにより、市の財政が大変になるということを市民に知らせるべきではないか。問題点があるということを周知してほしい。
A	他自治体にふるさと納税しないようにと市民に訴えかけることは難しいが、そういった事実を周知することは必要と思うので、やっていきたい。
④ 保育施設について	
Q	すぎの子保育園がなくなると、小宮、戸倉地区から公的な保育施設がなくなってしまう。自然の中で安全に遊ばせることができる市立保育園をつくってはどうか。
A	残念ながら、利用者が少ないということで、現在の状況に至っている。戸倉・小宮地区で保育園が無くなることについて、心配の声などが寄せられることは理解できるし、やり方次第でという声もあるかもしれないが、市としても少ない人数で運営していくことは難しい。子どもがいなくなった後を想定し、園の施設の利活用について、子育てにちなんだ利用ができないか検討していきたい。活用したい民間事業者がいれば、それも良いかもしれない。

令和6年度あきる野市タウンミーティング 主な懇談内容

⑤ 協働事業について
Q 行政と住民で行っている郷土の恵みの森構想については、今後、高齢化などにより、事業が継続できなくなる可能性がある。他自治体の住民の参加を受け付けられるよう、そういった協働に関する窓口があると良いのではないかと。市民に発信していくことも必要だと思う。
A まずは、市民等に関心を持ってもらうことが重要だと思う。広報掲載に留まらず、情報の発信方法について、工夫していきたい。
⑥ 働き先に関する情報提供について
Q 移住・定住の促進に当たり、あきる野市にはどのような働き先があるのか。青梅市のオープンファクトリーのような取組を実施してみてもどうか。
A ぜひやってみたいと思う。個性的な事業者もいるので、移住希望者が確認しやすいよう、市において情報を集約することも大切だと思う。参考にしたい。
⑦ 職場体験について
Q 小中学校において、職場体験を実施してくれる事業者を先生が探しているとの話を聞いた。事業者にも市の担当者から職場体験をさせてもらえないかと声をかけて、調整することはできないのか。職場体験がきっかけで、地元の仕事を引き継ぐ子どもも出てくるかもしれない。教育委員会と担当部署で事業者とのつなぎ役をしてほしい。
A 現在、市においては中学2年生の生徒に対し、職場体験を行っている。商工会や青年会議所、企業のリストがストックされているので、活用することはできると思う。協力いただける新たな事業者等があれば、情報提供してもらいたい。
⑧ 町内会・自治会の加入について
Q 移住・定住の促進をしているとのことだが、地域のことを何も知らない人が転入してきたときに、地域に協力してもらえるのかどうか心配に思っている。若い人は町内会・自治会に加入してくれない。
A 地域をよく知ってもらった上で、移住してもらった方が良く考えている。とある地区では、新しく移住してきた人が多い。介入しすぎず、困ったときには手を貸すというスタンスで、良い距離感が保たれていることが良い結果につながったのではないかと考えている。地域の自治機能を維持していくためにも、上手に受け入れていって欲しい。
⑨ 不登校について
Q 五日市に不登校の子ども達が集まれる施設をつくってほしい。
A 五日市にも、教育相談所内にカラフルルームを設置している。対応していきたいと考えているので、何かあれば教育委員会に相談してほしい。
⑩ タウンミーティングの周知方法について
Q タウンミーティングをもう少しきめ細やかに実施して欲しい。地区によって行政課題が異なる。参加者が思ったよりも少ない。町内会・自治会においては、ポスター掲示だけではなく、回覧を回してほしい。周知方法を考えてほしい。
A 意見として承る。

令和6年度あきる野市タウンミーティング 主な懇談内容

⑪ 高齢者向けの運転講習について
Q 高齢者向けの運転講習を行っている自治体が九州にあるときいた。市においても参考にしてほしい。
A 参考にして、検討していきたい。
⑫ 武蔵五日市駅前拠点施設について
Q 子どもの居場所としての機能も持たせてほしい。デジタルサイネージを活用して、観光案内ができるようにしてほしい。
A 参考にして、検討していきたい。
⑬ 市制施行30周年と五日市線100周年の記念イベントについて
Q 来年、市制施行30周年と五日市線100周年を迎える。駅や市役所、資料館で展覧会等を実施してほしい。
A 参考にして、検討していきたい。